

PVT測定

樹脂の溶融～固体状態における圧力(P)、比容積(V)及び温度(T)の関係を測定します。成形加工時の、成形収縮(ひけ)、反り等を予測したり、これらを生かした金型設計をする際に必要な情報(パラメータ)をご提供します。

【装置外観】

装置	P-V-T テストシステム(東洋精機製作所製)
測定温度範囲	40°C~400°C
測定加圧範囲	10~200 MPa
試料量	約2g
試験モード	熱可塑性樹脂PVT試験モード ・定圧温度変化測定 ・定温圧力変化測定 熱硬化性樹脂硬化試験モード(最大加圧力:40MPa) ・定圧温度変化測定

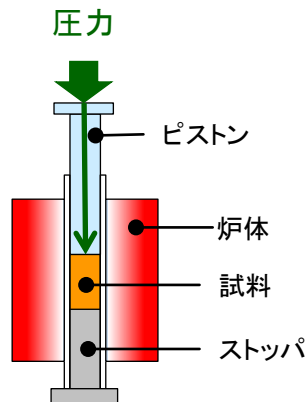


【測定原理概要】

炉体内の加熱された試料管に試料を入れ、溶融状態の試料をピストンにて加圧します。

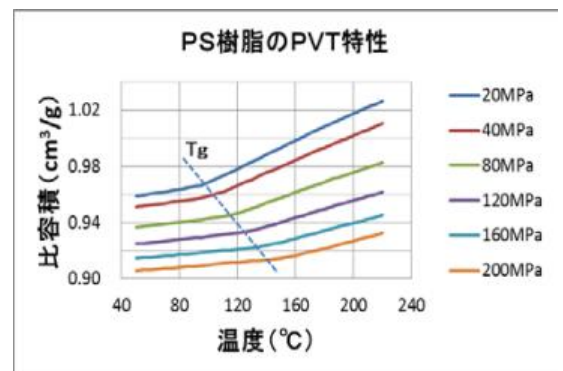


試料の容積変化に伴うピストンの移動変位を測定して比容積(密度の逆数)の圧力、温度変化を求めます。



【測定例】

温度が高くなるにつれて比容積は増大します。圧力が高くなるにつれて比容積は減少し、ガラス転移温度(Tg)は高温側にシフトします。



お問合せ先 株式会社ロンビック 樹脂検査分析センター

〒510-0871 三重県四日市市川尻町1000番地

TEL: 059-345-7622

E-mail: jushibunseki@rhombic.co.jp

FAX: 059-345-7174

URL: <https://www.rhombic.co.jp/>

(61T703:1600)